

## 2019年度東海北陸近畿地区母子保健事業研修会開催要綱

### 1 目的

核家族化や地域のつながりの希薄化等により、妊娠や出産、子育てにおける妊産婦等の不安や負担が高まっている現状にある。そのため、妊産婦等の不安やニーズに細かく一貫したサポートを行うため、子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の整備が各地域（自治体）において進められているところである。本研修では、母子保健サービスの第一線で活動している母子保健関係者等が、「妊娠期からの切れ目のない支援」に着目した母子保健事業等の強化・充実を図ると共に、支援をつなげるための保健医療福祉など関係機関の連携について考えることを目的に開催する。

### 2 テーマ 「妊娠期からの切れ目のない支援を目指して」

～養育者に寄り添う支援の実践に向けて／産後のこころの問題への対応を中心に～

### 3 日時 2019年11月15日(金) 10:00～16:00

### 4 場所 じゅうろくプラザ 5階大会議室 (〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11)

### 5 対象 保健師、助産師、看護師、その他母子保健に携わる関係者

### 6 定員 240名 先着順とし、定員になり次第締め切りさせていただきます。

### 7 主催 岐阜県、一般社団法人日本家族計画協会

### 8 後援 厚生労働省、公益社団法人日本助産師会

### 9 プログラム

9:30～10:00	受付
10:00～10:10	開会挨拶
10:10～10:50	行政説明「最近の母子保健を取り巻く状況」 厚生労働省子ども家庭局母子保健課
10:50～11:00	休憩
11:00～12:30	講演Ⅰ「産後のこころの問題と対応のコツ」(仮題) ～育児に不安を抱えるお母さんたちのサインを見逃さないために～ 東京都立大塚病院 神経科 松井 康絵 氏
12:30～13:45	休憩(昼食)
13:45～14:05	情報提供 一般社団法人 日本家族計画協会
14:05～15:00	講演Ⅱ「周産期メンタルヘルスハイリスク患者に対する支援」(仮題) ～岐阜大学の取組みと地域連携について～ 岐阜大学病院周産期・生殖医療センター員(産科婦人科) 志賀 友美 氏
15:00～15:35	事例発表① (特非) ぎふ多胎ネット事務局と多治見市による事例発表
15:35～15:55	事例発表② 岐阜市による事例発表
16:00	閉会

### 10 申込方法

別紙申込書にて10月4日(金)までに提出ください。

岐阜県健康福祉部子ども・女性局子育て支援課母子保健係(担当:菱田)

FAX : 058-278-2880

Email : hishida-tomonori@pref.gifu.lg.jp